



あけましておめでとございます



あたら 新 しい年がスタートしました。冬休みは楽しく過ごせましたか？
しんねん 人気者 といえ、その年の干支。今年の干支は「へび」です。脱皮し強く成長
するへびのように、みなさんもひとまわり大きくなれる年にしましょう。

ことし 今年 巳年

【新年に読みたい本・へびが登場する本】



『おもしろい！進化のふしぎ ますますざんねんないきもの事典』

いまいすみただあき かんしゅう たかはしよてん
今泉 忠明 (監修) 高橋書店

生き物たちのおもしろい生態やとくちょうを、あえて「ざんねん」の視点から注目しています。へびは、自分のしっぽを獲物と間違えて食べてしまうことがあるそうです。

『もしも動物と話せたら？』 ジェイソン・ビッテル (文) ケルシー・バゼル (絵) 化学同人

動物はたくさんのかたばを話さないけれど、人間と同じようにコミュニケーションをとりあいます。どれも自分たちの種が生きぬいていくための手段なのです。

『ホネホネたんけんたい』 おおにしなるあき しゃしん まつだもとこ ぶん アリス館

くねくねぐにやぐにややわらかいへび。でも、しっぽのさきまでホネがある。いろいろなどうぶつのはねのふしぎやひみつがわかります。

えほん まな エスディーゼーズ 絵本で学ぼう! SDGs

15 陸の豊かさを守ろう



SDGsの目標15 陸の豊かさを守ろう

地球上ではたくさんの生き物が影響しあって生きています。しかし、人間の活動によって森が失われ、生き物のすみかが減ってきています。自然の中で動植物を観察し、仲よくする方法をさがしてみましよう。

『たったひとつのドングリが ーすべてのいのちをつなぐー』

ロー・M・ツェーファーとアダム・ツェーファー (文) フラン・プレストン・ガリ (絵) せな あいこ (訳) 評論社

たったひとつのドングリから、木が育つ。その木にトリが巣をつくり、花の種が落ち、実がなり、動物たちがやってくる……シンプルな言葉で命のつながりを描く絵本。

◆ 本でコミュニケーション ◆

★おすすめの本★ (グラシアン先生のおすすめ)

『Brown Bear, Brown Bear, What Do You See?』

ビル・マーチン(文) エリック・カール(絵)

授業でおなじみのこの本の日本語のタイトルは「くまさん くまさん なにみてるの?」です。いろいろな色をした動物たちがでてきて、みんなの口からも自然と英語が飛びだしてきますよ。図書室にも何冊か英語の本が入りました。ぜひ、手にとってみてください。

